

「国際ソーシャルワークを実践家の声から問う」 調査報告書発刊！

ルーテル学院大学 原島博教授と淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 秋元樹名誉所長が発起人となり、「アジア国際社会福祉研究会」を2020年6月から毎月開催しています。この度、当研究会のプロジェクトとして初めて行った調査研究の報告書（発行：淑徳大学アジア国際社会福祉研究所）が完成しました。

本報告書の中心であるヒアリング調査の目的は、国境を越える諸課題に対してソーシャルワークとみなせる活動・事業を含む組織における実践家個人に着目し、その実践・業務を支える動機や視点と、社会福祉教育および国際ソーシャルワーク教育との接点等を探索することでした。とくに、本報告書では、第一線で活躍されてこられた3名の方々への対談的なヒアリングを通じて、国際社会福祉（国際ソーシャルワーク）がさまざまな切り口から語られ議論されています。当研究会では、世界で主流の議論を踏まえながらも、国際ソーシャルワークとその視点のあり方を多角的に問うていきたい、と考えています。ぜひ、本報告書をお手に取って御覧いただけますと幸いです。

日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局にご協力頂き、会員校の皆様にご送付させていただきます。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ご質問・お問合せ等ございましたら、asiainst@soc.shukutoku.ac.jpまでご連絡くださいませ。



- ◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。
<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>
- ◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。